

教材・教具名： ぴっかぴか

製作者： 窪田

主な使用場面・領域・教科等： 自立活動， あそび・せいかつ

### <図・写真>



### <材料・製作方法等>

黒色フェルト生地（60cm×60cm）  
棒2本（80cm×80cm）  
クリスマス用ライト2つ  
単3電池4本  
マジックテープ  
ビニールテープ  
○フェルト全体にライトの数だけ穴を開ける。フェルトの両端をそれぞれ縫い、棒を通す。スイッチとフェルトにマジックテープを着ける。マジックテープを着けた状態で、ライトを穴に入れてテープで固定する。

### <ねらい>

- ・ベッドや座位保持装置上で，楽な姿勢で光を見て楽しむことができる。
- ・歌や音楽に合わせて動かすことにより，光が近づいたり遠ざかったりする様子を味わうことができる。

### <指導方法・留意点等>

・訪問教育学級の児童生徒に活用し，病棟ややまびこの廊下等で学習を実施した。黒色のフェルトを使用しているため，病棟や教室でも光は見えるが，できるだけ暗い環境を作ることが望ましい。夏・秋は「きらきら星」や「星の世界」の歌，冬はクリスマスの学習やオルゴールの音に合わせて学習を行った。

### <指導経過・成果・課題・展望等>

・ベッドで仰臥位の姿勢の児童生徒に使用する機会が多かった。始めは光に集中できるように歌や音は無い環境で行い「光っている方向に視線を向ける」ことをねらいとした。

Tさんは物を見ることが好きだが，普段は仰臥位で過ごしているため，見る景色にあまり変化は無い。学習で絵本やぬいぐるみを顔の近くに提示すると，普段よりも開眼して対象物に視線を向けることができる。中でも「光」を提示した時の開眼するタイミングは早く，他の提示物に比べると視線を向け続ける時間が長い。

Tさんにこの教材を使って学習した時は

- ① ライトを付けずに顔の前に提示する  
→ 自分の目の前に何かがあることに気づき，開眼をした
- ② 視線が教材に向いた事を確認して「よく見てね。3・2・1…」と予告して期待感を引き出す  
→ 視線を離さず，見続けた
- ③ ライトを付ける（始めは光だけを楽しみ，のちに歌や音を合わせる）  
→ 更に開眼し，視線を向けていた  
口元を普段よりも盛んに動かしていた

提示すると視線を離さないため，涙がでることがあった。見続けてまばたきをしないことが原因だと考えられるため，提示する時間，ライトを付ける時間に配慮する必要がある。